

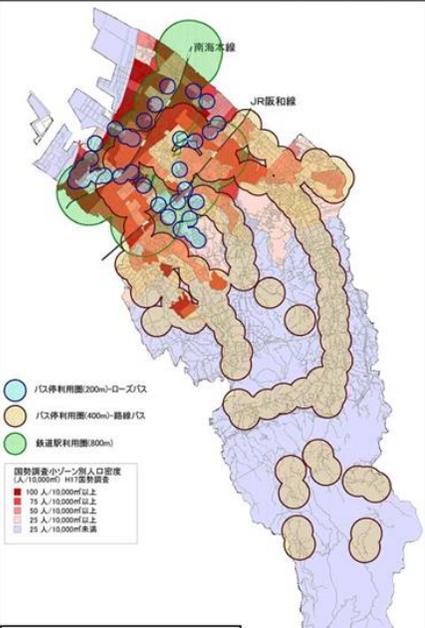
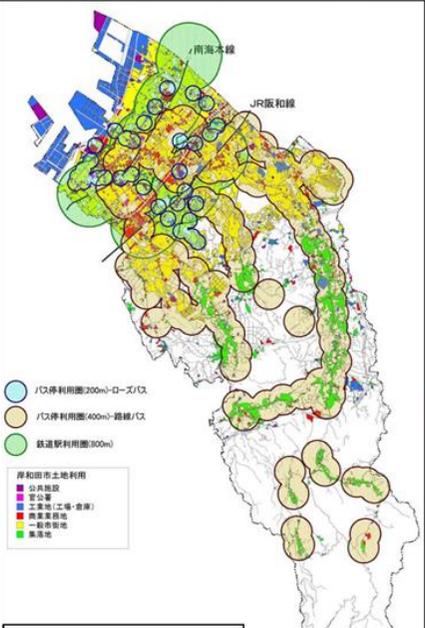
2024/5/28

# 地域主体の生活交通導入について

令和4年度第3回協議会資料

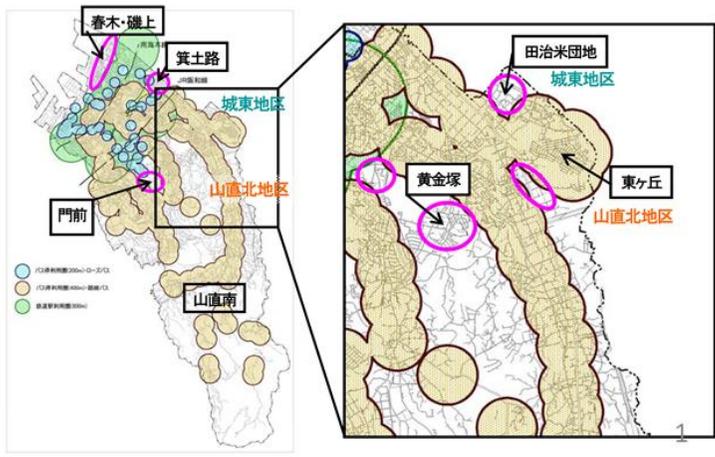
平成24年3月策定 公共交通のあり方検討より

- 岸和田市公共交通の現況における課題・問題点を整理すると以下のとおり
- ① 路線バス・ローズバスでカバーされない公共交通空白地区がある
  - ② 路線バスは、乗降者数の減少に伴い運行便数が減少傾向におり、地域住民の利便性低下につながっている
  - ③ 公共交通空白地区に人口密度の高い地区や、土地区画整理事業実施中の地区など人口集中地区も見られるため、路線バスの運行ルート導入、コミュニティバスの運行などによる、公共交通空白地区の解消が望まれる
  - ④ ローズバスが JR や南海本線の駅、徳洲会病院などの主要施設に接続していないため運行ルートの再考が望まれる。ただし、路線バスとの路線(区間)の重複を避け、ローズバスと路線バスの運行調整や、乗降者の利便性向上などの取組みが必要となる
  - ⑤ ローズバスの運行収入は2割程度にとどまっており、大部分が補助金により運行されているため、運行ルートの拡大や増便などを行うと赤字の拡大が懸念されることより、利用者拡大のための施策や適正な受益者負担のあり方など、運行収入の拡大方法についても併せて検討する必要がある
  - ⑥ 岸和田市では自家用車の分担比率が非常に高く、ローズバス、路線バスの運行を安定させるためにも、公共交通機関の利用促進策の検討も必要である



※ ローズバスの利用圏域をバス停から半径 200m、路線バスの利用圏域をバス停から半径 400m、鉄道の利用圏域を駅から半径 800m と設定して地形図上にプロットし、公共交通の空白地区の確認を行った

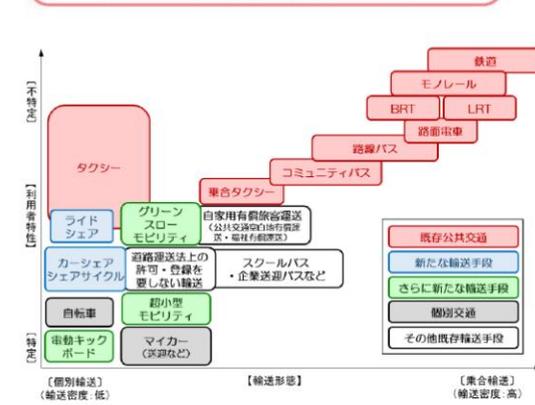
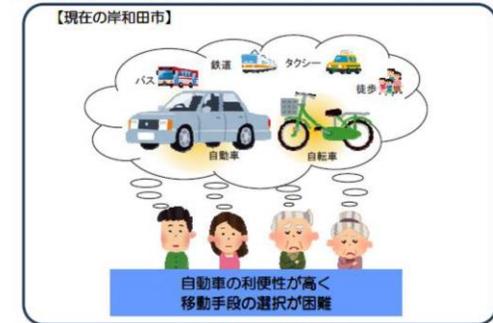
地区等	状況・課題	具体策	
公共交通空白地区	春木・磯上(大芝)	紀州街道沿いなど集落地区では道路が狭くバス運行は困難 臨海線付近の工場跡地で住宅開発が進んでいる 地区内に店舗、病院等が立地し生活利便性がある程度高い 高低差が少なく自転車・徒歩での移動が容易	将来的な課題として、高齢者などの移動困難者等への福祉施策として、道路状況に対応したバス以外の小型車を活用した移動サービスを検討する
	箕土路	国道沿いの区画整理により整備された地区では、事業所等の土地利用が多い 旧集落内は道路が狭くバス運行は困難	将来的な課題として、高齢者などの移動困難者等への福祉施策として、道路状況に対応したバス以外の小型車を活用した移動サービスを検討する
	門前	宅地開発が急速に進み人口が増加 道路が狭くバス運行は困難 都市計画道路岸和田港福田線の事業中	道路整備によりバス運行が可能となった時点で、バスルートの拡充などを検討する
	黄金塚	昭和40年代に住宅開発が進んだ地区で高齢化が進んでいる 団地内は高低差が大きく移動が困難 店舗、病院等が近隣に少なく、生活不便地域区画整理地区では人口が増加している	山直北・城東校区において、コミュニティバスの試験運行を実施する
バス運行空白地区	田治米団地	府営住宅団地で高齢化が進んでいる(総戸数720)	
	東ヶ丘	昭和40年代に住宅開発が進んだ地区で高齢化が進んでいる 団地内は高低差が大きく移動が困難 路線バスが乗り入れており、既存バス路線との整合が必要	既存路線バスとの競合を避ける為、地域と協働したバス利用促進による路線バスの複便などを検討する
	山直南	蜻蛉池公園～和泉中央駅間へのバス路線新設要望(H22.12.22:山直南地区市民協) 市街化調整区域で、高齢化・人口減少が進んでいる 丘陵地区(道の駅)が隣接する 既存路線バスとの整合が課題	将来的な課題として、地区に隣接する丘陵地区整備とも連携し検討する



# 地域主体の生活交通導入について

## 令和4年度第3回協議会資料

### 交通まちづくりアクションプラン（地域公共交通編）



●幅広い世代の方が、日常的に外出しやすくするために、人（徒歩）を中心として、自転車、バス、鉄道、自動車との連携を強化することで、目的や状況に応じた移動手段の選択ができる交通体系の構築を目指す。

●異なる交通手段間の乗継抵抗（物理的な面、運賃面、情報面）の低減を図り、外出機会を増やすための、シームレスな公共交通体系を実現する。

- 目標① 多様な世代の移動ニーズに対応した利用しやすい公共交通サービスの提供
- 施策① 公共交通ネットワークの再編
  - 施策② 路線バスのダイヤ改正・利便性向上
  - 施策③ ロースバスのダイヤ改正・利便性向上
  - 施策④ バス等の乗り継ぎ利便性等を高める交通系ICカードの普及促進
  - 施策⑤ 新たなモビリティサービスの活用に向けた検討・導入

- 目標② 拠点機能向上と持続可能なまちづくりを支援する環境に配慮した公共交通環境の形成
- 施策⑥ 交通結節点等の整備等による乗継の機能強化
  - 施策⑦ 公共交通情報の充実
  - 施策⑧ 移動環境におけるバリアフリー化の推進
  - 施策⑨ 鉄道路線間の連携

- 目標③ 市内外の交流の活性化による住みやすく、訪れて楽しいまちを支援する公共交通体系の構築
- 施策⑩ 都市計画道路東山山手線等の道路整備の推進
  - 施策⑪ 高速バスの利便性向上
  - 施策⑫ 来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実

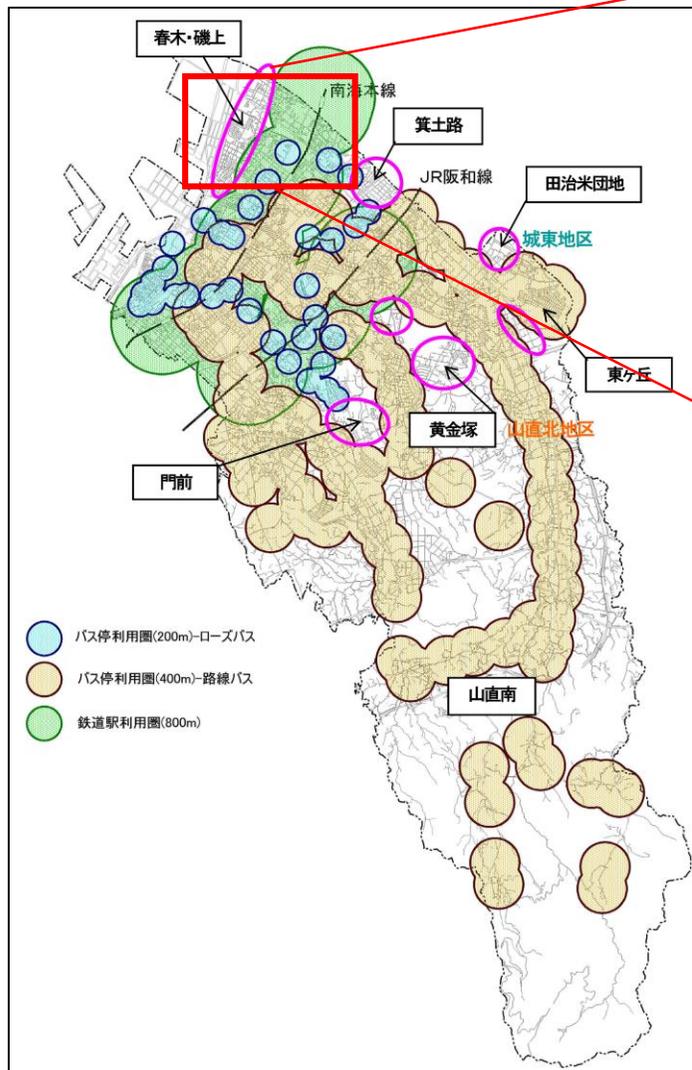
- 目標④ 市民・交通事業者・行政によるつくり・支え合う持続可能な公共交通の整備
- 施策⑬ 地域住民主体による持続可能な運行を支える協働の取組
  - 施策⑭ バス・タクシー乗務員の確保・支援

施策⑬ 持続可能な地域公共交通の実現を図るため、各地域における地域住民が主体となった交通システム導入検討の仕組みづくりと、交通事業者や市による支援体制を構築し、持続可能な地域公共交通の実現を目指します。また、企業の送迎バスやスクールバスとの連携を図りながら路線バスと競合しない仕組みづくりを検討します。

自発的な公共交通の利用促進に加え、地域バス等の新規導入や運行改善にあたっての地域発案型の市民主体となった検討の仕組みづくりを構築し、持続可能な運行を支える協働の取り組みを進めます。

# 春木・大芝地区の取組み

## ➤ 地区の状況



令和6年4月1日時点

春木地区	人口	内65歳以上人口	高齢化率
春木泉町	2,458	731	29.7%
春木大小路町	731	204	27.9%
春木北浜町	325	113	34.8%
春木大国町	241	85	35.3%
春木中町	469	140	29.9%
春木本町	950	262	27.6%
春木南浜町	662	239	36.1%
春木宮川町	523	199	38.0%
春木宮本町	246	88	35.8%
春木元町	209	60	28.7%
春木若松町	1,239	368	29.7%
合計	8,053	2,489	30.9%

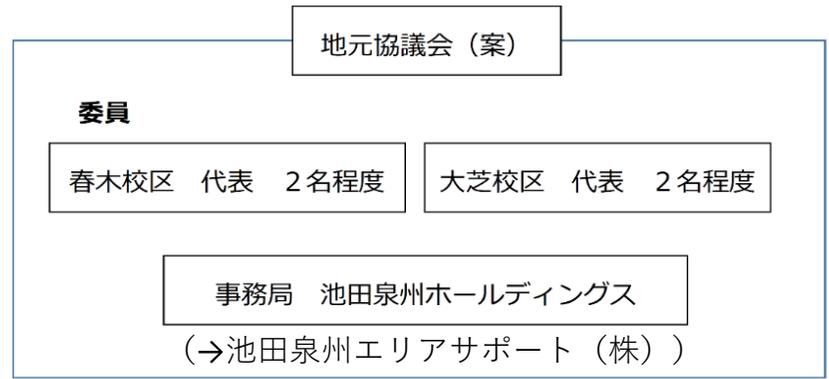
大芝地区	人口	内65歳以上人口	高齢化率
磯上町1丁目	1,231	362	29.4%
磯上町2丁目	825	280	33.9%
磯上町3丁目	665	182	27.4%
磯上町4丁目	985	324	32.9%
磯上町5丁目	1,735	531	30.6%
磯上町6丁目	816	246	30.1%
松風町	1,493	668	44.7%
八幡町	2,112	561	26.6%
戎町	862	280	32.5%
合計	10,724	3,434	32.0%

参考) 岸和田市内全体平均高齢化率 28.4%

# 春木・大芝地区の取組み

## 春木地区・大芝地区 移動手段確保に向けた取組み経緯

期間	内容
令和4年～	<ul style="list-style-type: none"> <li>春木地区、大芝地区との意見交換</li> <li>関係者を集い勉強会を実施 (泉州池田ホールディングス(現 泉州エリアサポート株式会社)の参画)</li> </ul>
令和5年～	<ul style="list-style-type: none"> <li>春木地区、大芝地区での生活交通導入に向けた検討</li> <li>交通事業者との協議</li> </ul>
令和6年～	<ul style="list-style-type: none"> <li>春木地区、大芝地区での生活交通確保に向けた実証運行など具体的な検討を進める &lt;今年度予定&gt;</li> <li>アンケート実施による移動ニーズの把握</li> <li>事業推進のためのプラットフォーム(組織)構築</li> <li>車両、運行エリア、乗降場の設定</li> </ul>



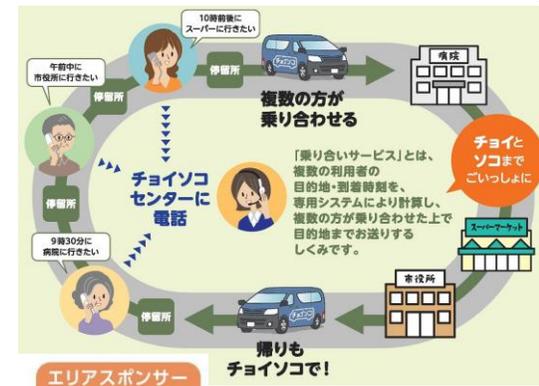
### オブザーバー



(令和5年第1回資料)

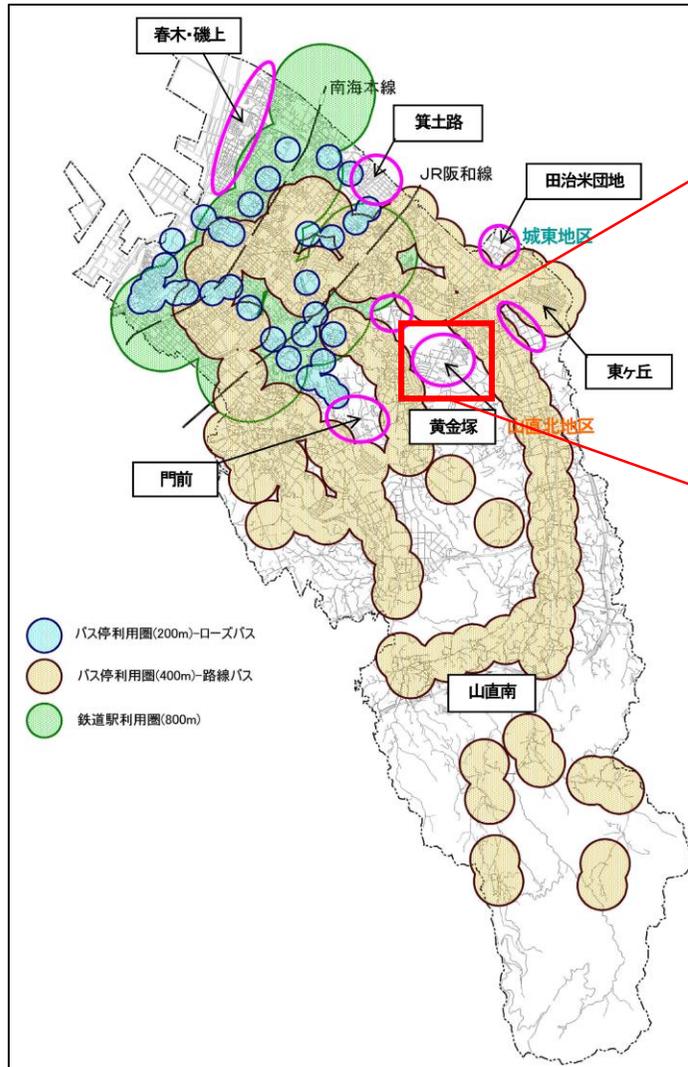
### 参考事例 豊明市

- ・デマンド型乗合タクシー
- ・協賛金による運営費の確保
- ・外出機会創出に向けた取組



# 黄金塚地区の取組み

## ➤ 地区の状況



黄金塚	人口	65歳以上	高齢化率
黄金塚一期	332人	109人	32.8%
黄金塚二期	244人	127人	52.0%
合計	576人	236人	40.9%

# 黄金塚地区の取組み

## 黄金塚 移動手段確保に向けた取組み経緯

期間	内容
平成24年3月1日 ～平成29年9月29日	<p>ローズバス試験運行 (運行日：月曜日から土曜日(日曜日・祝日は運休))</p> 
平成25年7月1日 ～平成26年3月31日	<p>ローズバス再試験運行 (運行時間の拡大、増便(6便→7便)、停留所の増設等を改善)</p> 
	→利用者、収支率等が評価基準値を下回り、本降格運行に至らず
令和5年3月31日	<p>1回目懇話会 黄金塚住民より移動に困っている旨の相談を受け、市街地整備課(現交通まちづくり課)が黄金塚住民と懇話会を開催 【住民意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年頃に上松台まで運行されているローズバスを黄金塚まで来てもらえないか協議会を立ちあげた経緯がある。</li> <li>なるべく早く対応をお願いしたい。免許更新のタイミングが来ており、更新するか迷っている。</li> <li>ローズバスの試験運行時は、住民が若くそれほど不便を感じていなかった。今は高齢化が進んでいる。</li> </ul>
令和5年8月21日	<p>2回目懇話会 交通まちづくり課より交通モードや制度、地域主体による生活交通の導入事例について説明 【住民意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改めてローズバスを黄金塚まで運行してもらいたい。</li> <li>幼稚園の通園バスや病院のバスを利用できないかと思う。</li> </ul>
令和5年11月17日	<p>3回目懇話会 住民アンケートを検討しており、内容や説明について住民9名と懇談 【住民意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最近ではタクシーを利用しようと電話をしても空車が無くなかなか来てくれない。</li> <li>黄金塚は昔から路線バスが無く、公共交通が無い状態がずっと続いてきた。</li> </ul>
令和5年12月	住民アンケートを実施
令和6年2月21日	<p>4回目懇話会 アンケートの結果を報告(一期、二期の町会長2名、老人会会長2名) 住民報告用のアンケート結果を別途作成し回覧板で回覧。</p>



# 黄金塚地区の取組み

アンケート結果(一部抜粋)

## ➤ 良く出かける場所、出かけた場所(買い物、鉄道駅、病院、その他)

施設名	回答数	施設名	回答数	施設名	回答数	施設名	回答数
JA	1	下松駅	5	八田町内	2	ゴルフ練習(※1)	3
イオン	3	岸和田駅	4	徳洲会クリニック	2	スポーツクラブ(※1)	4
イズミヤ	1	久米田駅	19	土生町内	3	その他	15
ウィンディ岸和田	1	春木駅	6	大町町内	2	久米田青少年会館	3
ウェルシア	3	東岸和田駅	1	桜台クリニック	5	勤務先	2
エバグリーン	3	無回答	2	久米田周辺	2	銀行	2
オークワ(※1)	13	和泉中央駅	2	久米歯科	2	公園	1
カンカン	1	和泉府中駅	1	亀井病院	4	公民館	3
コーナン	4	総計	40	岩崎眼科	6	市外	4
コープ(※2)	10			岸和田徳洲会病院	10	市民センター(※2)	8
コストコ	2			岸和田市民病院	12	中央公園	3
コスモス	2			葛城病院	4	福祉総合センター	2
コンビニ	2			下松町内	2	箕土路青少年会館	2
サンエー(※3)	22			岡山町内	5	無回答	4
サンドラッグ	2			宇野医院	4	郵便局	2
スギ薬局	1			つじクリニック	5	蜻蛉池公園	3
ダイキ	4			その他	46	かめい内科	2
ピバホーム	3			総計	119	総計	61
ムサシ	1						
ラムー	5						
ららぽーと	5						
ローソン	1						
ロピア	2						
卸売田地	2						
業務スーパー	3						
松源	1						
道の駅愛彩ランド	3						
分類不明	12						
万葉	5						
葉葉の森	1						
和泉中央	1						
総計	121						

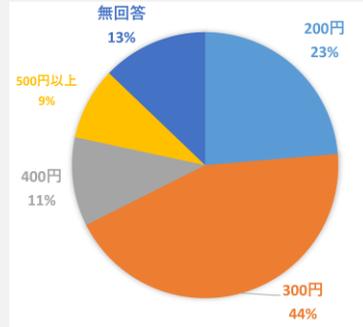
※2件に満たないものは「その他」に分類  
 ※1回答内容からゴルフ練習、スポーツクラブに分類  
 ※2山直市民センター、八木市民センターを合算

※3サンエーは山直店、久米田店を合算

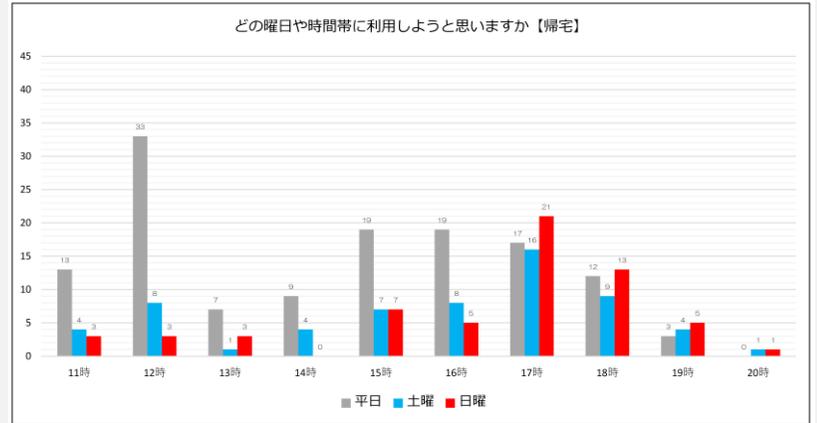
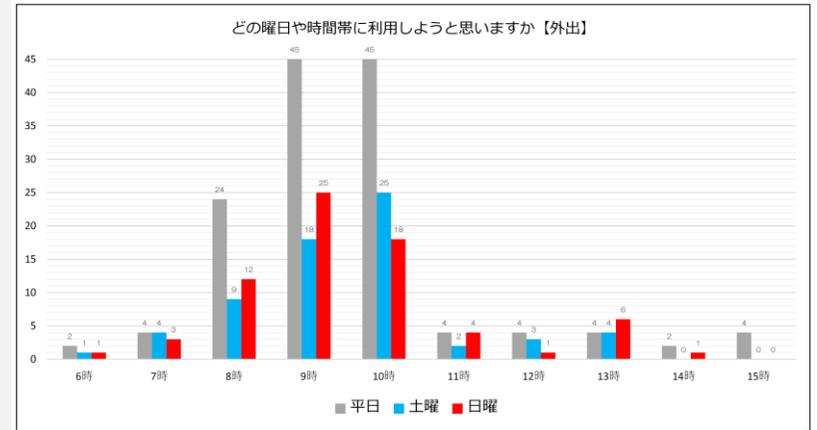
## ➤ どれくらい利用しようと思いますか

利用頻度	回答者数
1カ月に数回利用したい	30
1週間に数回利用したい	67
必要な時(月に1回程度、半年に数回程度)	35
毎日利用したい	5
無回答	11
<b>総計</b>	<b>148</b>

## ➤ 支払っても良いと思う運賃(片道)



## ➤ どの曜日や時間帯に利用しようと思いますか



- 普段の買い物ではサンエーを利用する人が多い。
- 鉄道駅は久米田駅を利用する人が多い。
- 地域バスを毎日利用したいと思う人は少ない。
- 利用料金は片道300円までが多い。
- 土曜・休日の利用ニーズは少ない。
- 外出時間帯は8時台～10時台、帰宅時間帯は11時台～12時台と15時台～18時台が多い

# 黄金塚地区の取組み



## 今後検討

- 移動ニーズが多かったスーパーマーケットと鉄道駅を結ぶルート(左図)を  
基に沿線にある施設の抽出
- 運行曜日、時間帯、運行本数
- 運行経費の算定 等



▲令和6年5月15日 懇話会  
黄金塚在中住民 10名参加

- ▶ 令和5年第3回協議会資料  
(地域主体による生活交通の導入マニュアル策定について)

## 本格運行等に係る基準について

### 評価指標(案)(乗合タクシーの場合)

#### 本格運行判断

視 点	評価指標	基 準
効率的な運行が図られているか	乗合率 (平均乗車人員)	1.5人/便以上
地域のニーズに合っているのか	満足度	80%以上

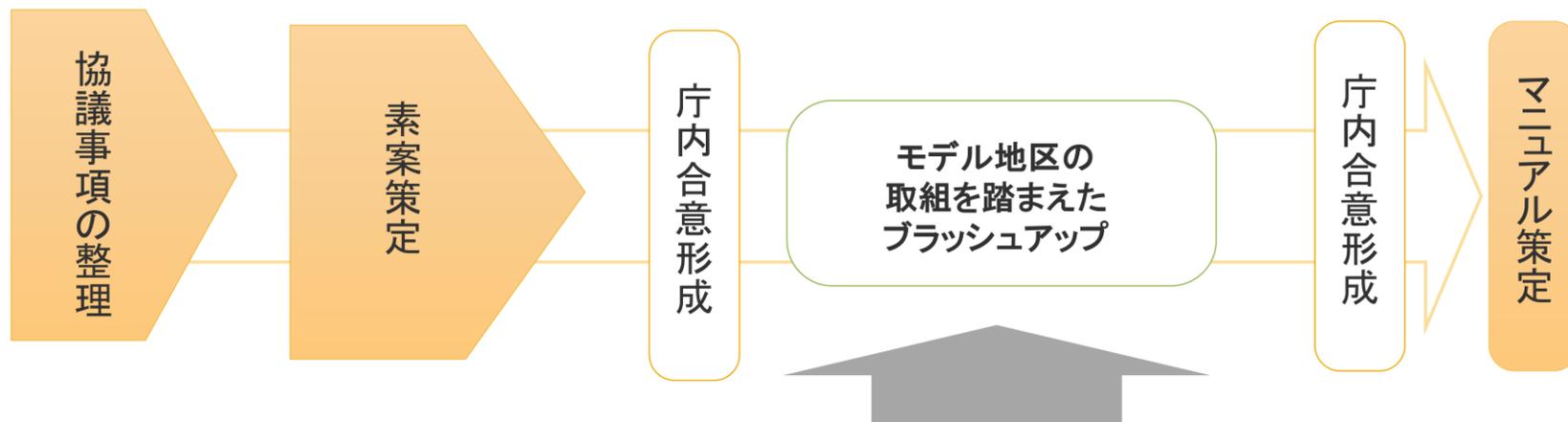
#### 継続運行判断

視 点	評価指標	基 準
効率的な運行が図られているか	乗合率 (平均乗車人員)	1.5人/便以上
地域のニーズに合っているのか	満足度	80%以上
地域により利用促進検討が図られているか	協議会活動数	月1回以上

- ▶ 令和5年第3回協議会資料  
(地域主体による生活交通の導入マニュアル策定について)

## 今後の流れと地域取組との整理

### マニュアル策定



### 地域取組(モデル地区)

